

平成 28 年度 事業 計画 書
(平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

本年度は、引き続き、安全問題を中心とする科学技術等の研究開発の助成、普及啓発、情報交流、国際交流等を通じて、科学技術の振興を図ることとする。

近年の本財団の収支構造と科学技術の今後の動向を踏まえ、公益目的事業の見直しと拡充を早期に実施することとする。

平成 28 年度は、一般研究の助成額の見直しを行うとともに新たな助成として挑戦的研究に対する助成制度の創設、今後の発展が期待される重要な研究分野の発掘と新たな研究開発助成のあり方の検討等を進めることとし、次の事業を実施する。

1. 研究開発の助成

安全に関する分野に重点をおいて、社会的貢献が期待される科学技術等の研究開発を活発に行っている研究者に対して、公募により研究開発の助成を行う。

(1) 一般研究 予算額：507 百万円以内

平成 25 年度～27 年度に新たに準備研究として採択した課題については、選考委員会における研究報告書の評価結果に基づき、本格研究移行、または、継続研究の助成を行う。

平成 28 年度新規に、公募により、大学に所属する 59 才以下の研究者に対し、準備研究期間を含め 3 年ないし 4 年、研究助成額年間 500 万円から 1,500 万円の研究課題(1 課題当たり、準備研究の 500 万円を含め、総額 5,000 万円以内、研究の進捗状況により増減額を可能とする) 7 課題程度について、選考委員会における選考結果に基づき、平成 28 年度は準備研究として助成を行う。

研究助成金による研究の早期実施の観点から公募実施期間を早め、年度当初から公募を開始する。

(2) 挑戦的研究 予算額：10 百万円以内

平成 28 年度より、新たに挑戦的研究開発について助成を実施する。

公募により、大学に所属する 40 才未満の研究者に対し、準備研究期間を含め 3 年、研究助成額年間 100 万円から 300 万円の研究課題(1 課題当たり、準備研究の 100 万円を含め、総額 700 万円以内) 10 課題程度について、選考委員会における選考結果に基づき、平成 28 年度は準備研究として助成を行う。

(3) 特別研究 予算額：33 百万円以内

平成 27 年度までに採択した課題について、企画委員会における審査結果

に基づき、引き続き助成を行う。

2．普及啓発 予算額：10百万円以内

研究開発助成を行った研究成果報告書の発行・配布、及び研究成果を一般に広く周知、普及するための取材記事のホームページ掲載等を行う。

併せて、財団助成の研究成果を中心とするシンポジウムの開催について検討を行う

3．情報交流 予算額：6百万円以内

安全に関する分野に重点をおいて、科学技術の研究開発に係る諸情報の交流を図るため、講演会開催等の支援を行う。

4．国際交流 予算額：2百万円以内

安全に関する分野に重点をおいて、募集及び企画委員会における審査を行い、国際シンポジウム開催等の支援を行う。

5．その他 予算額：2百万円以内

今後の財団の助成対象となりうる分野等について、我が国内外の研究動向、官庁の施策や助成機関の動向等に係る検討を行う